

「花見の王様」 高村明彦

登場人物

男

別の男

盛岡城跡公園の映像（スライドショー）が流れる。

花盛りである。

男が歩いてやってくる。

テロップ1「男」

お目当ての場所に辿り着き、ブルーシートを広げる。

テロップ2「モリオカの」

四隅を大きめの石で押さえ、折ったダンボールを立て札代わりに真ん中に置く。

テロップ3「シロに」

それには大きく「ヨヤクズミ」と書かれてある。

テロップ4「ヒトリ」

男、去る。

タイトル「花見の王様」

映像が終わる。

ブルーシートの上に桜の花びらが一枚、また一枚と舞い落ちる。

男、鼻歌まじりでやってくる。

右手に日本酒の一升瓶。

左手にスーパ一の袋。発泡酒やおつまみ、お椀、割り箸、コップなどが入っている。

男
いやいやいやいや……まだ酔ってないよ？

男、晴れ晴れしつつ一升瓶と袋を置く。

一度去り、今度は鍋とカセットコンロを持ってくる。

男
(仰ぎ見て) いやー、晴れてよかったなあ。でもね、夜は寒くなるからね、けっこう厚着してきたの

男、深呼吸。

男
においがいいなあ

もう一度深呼吸。

男 においがいい。ははー、いいねえ。ウフフフフ…
いや、だから、まだ酔ってないって
ただ、ウレシーの

また辺りをみている。

男 今日のお客さんは…：ギャルとおねえさんでいっぱいだね！
ウフフフフ…：じゃ、おれもカンパイといきますかね

スーパーの袋より発泡酒を取り出す。

男 いやなんか悪いなア

なぜか照れる男。

男 えー、いいのお？ じゃ、すいませんが失礼して

缶のプルタブをひく。

男 じゃ

四方に缶を掲げる。

男 じゃ本日はお日柄もよく、挨拶は、省略しますけれども……黙祷

男、黙祷。
終わって、

男 カンパイ！

男、なんとももったいぶって、唇をつけ飲む。

男
くー！

自ら拍手。

男 いやー、いい！ いいね！ 楽しくやりましたよ！ ねえみなさん！ 今日思う存分！ ねえ！ いやいやいや、ほにほにほに

男、座る。

男
ふう……

男、少し寂しくなったかもしれない。
が、徐々にまた喜びの表情。
スーパーの袋の中から柿の種の袋を取り出し、ポリポリ食べる。

男 桜さあ、おれは、ソメイヨシノも、結構好きなんだよね

エドヒガンも好き

石割桜のシロヒガンは、いつみても見事だね

山桜も

浄水場のヤエベニシダレも

どんくらい好きかっていうと、そうだなあ……かなり？

年に一回ってのがいいよね

一年って長いじゃない

短い？

おれ結構長いと思うんだ

おれみたいに、毎日あまり代わり映えのない生活しててもさ、次の桜まで、なんて思うと長い気がするよ。ウン

いやさ、去年の夏暑かったでしょう？

暑い通り越してもう過酷だったでしょう

おれさ、去年、あのデッキカイ葬祭会館の現場行つてたの

葬祭会館、知ってるでしょ。最近たくさんあるでしょ、そこらじゅうに

でっかい緑と白の看板の

その中の一つさ、うちの会社で請け負つたの

入り口の前の舗装したの

ありやきつかったあ

いやほんと暑いなのなんのって

で、その会館の前にさ、もう閉めちゃった酒屋があるんだけど、自販機だけは置いてあんのね

それ、おれらで売り切れんの

なんか知らないけど、おでんまで売り切れてんの。知ってる？

缶おでん

酷暑に売り切れ

なんでだろ

でね、そうすつと、店のおっさんがさ、億劫そうに出てきて

ガタタタタン、ガタタタタン、て入れんの

で買うの。おれらが

水分どんどん奪われてるから

でも帰りは買わない

なぜならばー？

夜はお酒が待ってるから！

ウフフフフ：

また、ちびりと発泡酒を飲む。

男 それでさ、そのくそ暑い夏のせいで、もうすつかりバテちゃってさあ

もう食欲なくして

げそげそになっちゃって

なんつーの？ どこが悪いってはっきりしないやつで

吐き気するわ眩暈するわ頭痛いわ

あ、熱中症？

熱中症だな、ありや

秋の終わりまで仕事行けなくなったんだから
情けねーなしかし

おれみたいな人夫がさあ

あ、そうだ、熱中症で思い出したけど、これ鍋ね
みればわかりますよー

これ、鍋なんだけど、すり潰した納豆入ってるの
そお、納豆汁！ うまいよおー

弟も好きだった。弟の奥さんの由美ちゃんは納豆アウトって言ってたけど
でも食べると身体あつたまんのよお
どれどれー

男、鍋をカセットコンロにセットして、

男
うりや！

とって、火をつけようとするが、つかない。

男
うりや、うりや、んん？

やはりつかない。

男 うりや、といや、せいや！ はうあ！ どっせい、おどりやあ！
んんんー？

カセットコンロのガス缶を取り出して振る。

男 ぐあ！ 空やんけ！ えほんまにい？
もおやだ聞いてないわよアタシいー。信じらんない！ やだもおー

はたと辺りを見渡し、

男 （客席に向かつて）すみませーん、どなたか今日、カセットコンロの缶、お持ちでないでしょうか？
ガスの、缶、ないですか？ あ、ない？ こちらのおねえさんは？ あ、ない
そちらのイケメンさんは？ あるわけねえだろ？
は、すみません
うっそおーん

誰一人、お持ちでないのですか
確かに、いまや貴重品ですからね、コレ
いやほんとないの？ ちえっ

といつつ、男、スーパーの袋を漁ると新品のガス缶がちゃんとある。

男 買ってたの忘れてた♪

男、年甲斐もなくかわいい。

男 へへー、これこれ、これよおー

コンロの火をつける。

男 ヨシ！

少しコンロの炎みつめている。
マイムマイムを口ずさみ、
踊る。

しばらくして、はたと消す。

男 やっぱ鍋はまだ早いな……ウフフフ

おれ、一人なんだけど、今日ね

みりやわかるけど

今さー、ひとりって流行ってるらしいじゃん？

ひとりカラオケとかあるんでしょ？

おひとりさま温泉プランとか

ひとりクリスマスとか、あ、それはただサビシイだけか

いやおれのことですよ

ひとり劇団とか。違うな。劇団ひとりか、ウフフフ：

ひとり八芝観劇とかね

いや、ひとりね、気楽っちゃ気楽だよな

ちなみに、お聞きしたいんですけど、ひとりカラオケ行ったことある方はー？

男、想像上の客に聞く。

男 お、いる？ どうでした？ 楽しかったですか？ 友達、いないんですか？ 寂しいですね。いや、ぼくも友達いないので、はい
じゃあ、ぼくとお友達になってくれませんか！
で、こっちで一緒に飲みませんか？
勘弁してくれ？
そうですか
へへへへへ

男、缶をあおる。

男 うん。自分も長いことひとりだからさ

家族いたよ

両親と弟

爺さん婆さんはハタチんときに、最後の母方の爺さんが死んだ

でね弟なんだけどさ、これまたデキがよくてさあー！

お兄ちゃんびっくり

ほんと、なんでもこなすタイプなんだよ

野球部レギュラーだったし

おれは中三のときに肩壊しちゃったから、高校は応援団に入ったんだけど
なんてーの？

弟は、今で言う「もってる」ってやつ？
ちよつと野球の話にズレますけどね、あれはね、巡り合わせのスポーツなんですよ
試合には必ずヒーローがうまれます
けど、なろうと思っただけなれるもんでもないから
バッターなら打順があるでしょ
ピッチャーはさ、そりゃ試合の顔になる確率一番高いよ？
ゼロに抑えればいいんだからね
で、うちの弟はシヨートだったんだけど、足速いは肩強いわ
すげーんだ！
で、もってるのよ
ちやんと巡ってくんよ、いいところで打順が

※野球SE

2年の新人戦地区大会決勝9回裏一打サヨナラ満塁の場面、まわってきたの
で、打ったの、ヤツ
もってるから
おれは、もってない
なんも
しいて挙げればウンコ漏ってるくらい
失敬

でもほんと、ヤツはすごかった
あんどとき、カウント・ワンワンから
ガキーン！ と打ってねえ、打球をゆっくり見送って
レフトスタンドポール際、巻き込むように入ってさ
弟はあまりデカイガッツポーズしないの
ただゆっくり指を二本、こうやってベンチとスタンドに向けるわけ
それがまた様になってんだ
でも最後の夏は、甲子園は行けなくて
それですっぱり野球やめたんだ
それから、ガンガン受験勉強
大学入ってから手抜きしなかった
遊びも手抜きしなかった
で、
おとし結婚したんだけどさ。奥さんかわいくてなあ
10歳も離れてんだよ？
どこだかのー、NPOやっててさ
そこで活動してるとこで、出会ったって
弟は、会計事務所で行政書士やってた
バリバリやってたんだよ
お兄ちゃんとは大違いで
もってる男で

男、発泡酒を飲む。

男　なのになあ……残ったのはおれで
いやいやいやいや

男、スーパーの袋から「グリコアーモンドチョコ」を出す。

男　みなさんも、何か落ち込んだときがあったら、チョコ食うといいですよ！

チョコ食うとたいいのイヤなことは、
消えます！

断言します！

何かあったらチョコを食え！

おねえさんもチョコ、いかがですか！

私からの季節外れの、逆・バレンタインです！

周囲にチョコを置いていく。

男、戻ってチョコを食べる。

男　ありがとうございます

チヨコつとラブを受け取ってくれて

ありがとうございますね

今度デートいきましよう

でもおれ、車はあまり乗らないんですけど

最近、車に乗ってるような、なんか似た感じがするんですよ

感覚的に

車から、流れる風景をみるでしょう？

おれも、ちよつとこう、生きながら、風景が、どんどんどんどん、流れていくように思えて

どんどんどんどん、ばあーつと

ほんとはそんな速く流れないでほしいなって思うこともある

でもおれだけじゃなく、みんなが時間に乗ってるからね

しようがないっちゃしようがないんだけど

あそうだ、チヨコ食ってて思い出したわ

今年もバレンタインデー、チヨコもらえなかったんだよな

去年も、おとしも。もう何年ももらってねえっすよ

泣けるわー

当日はちよつと気にしちゃう自分が、潔くないわー

でも、昔はさ、もらったことがあるんですよ！

これ、これと同じチヨコ！

まだ売ってるってすごいよね

定番商品ってすごいよね

男、チョコをまた食べる。

男 と、考えると、時間を超越する不滅のものってあるのかしらね？

定番商品はずーっと残るかな？

コーラとかポテチとかカツプヌードルとか

ファーストフードなんかは？

マックとかドーナツ屋とか、きつとおれが死んでも世界のどこかにはあるのかしら
ないかあ？

やはり、万物は流転するかあ？

いつかはこの世からなくなる日がくるとみるべきか

この風景をみてるけど、いずれ死んで、死んだ後も世界は残って、とか考えちゃったりしたことないですか？
普通ないわよねー！　ウフフフフフ…

話それた、チョコだよチョコ！

あの時、おれにチョコくれた子、まだ生きてるかな
生きててほしいな

当時、その子はおれより背でかかったんだよ

ほら、小学校高学年で、女の子のほうが大きいじゃない
おっぱいもでかくなる子はいきなりでかくなるじゃない
なんか、体育でスキーやったんだよね

校庭の小さい山で

で、帰りにスキー抱えて下校するとき、昇降口で

「これ、ほしかったらあげる」ってくれたんだ、チヨコ
さらにだ！ なんと！

「あたし、あんたのこと好きだからね」って言われたんだ！

おれさあ、今でも悔やんでるんだけど、この、想定外の出来事にうまいこと答えられなかったんだよ……何を思ったか

「あっそ」

って言ったんだよ。最悪だなおれ

なにそれ「あっそ」って

いや、あの子もぼかんとしてたよ

それ以来、別に何事もなかったように、その子との関係は、チヨコくれた日をピークに先細り

おれの人生も先細り、今に至って

え？ お返し？

しなかったんですよこれがまた全然

当時、ホワイトデーって知らなかった気がする

おれが小学校の頃だよ？

昭和だよ昭和。30年近く前なわけだから

元気でいるといいなあ

面影が小学校の頃のしかないから、当たり前だけど、今が、想像つかない

小学校の同窓会ってないよなあ

たぶん、これからもないだろうなあ

ちよつと、会ってみたいって思っっちゃうね。ダメかなあ

酒いこ

男、袋からコップを出し、酒を注ぎ、しばし飲む。
長く息。

男 昭和ねえ。昭和

おれ、昭和よんじゅう、ウン年生まれ

みえない？

ありがと

昭和っていうとなぜか、八幡さんのお祭り思い出すんだよね

今でもあるけど

不思議なもので

なんかその風景が、ちよつと濃いかんじで、自分の中にあつて

その八幡通を、あれは誰とだったかなあ

あ、弟だよ

あと同級生か

うん、コウキちゃんと、アラちゃんと、宮はんいたかな？ いたな

で、怖かったの

八幡さんのお祭りって

いやいや、楽しいんだよ？ めっちゃ楽しみにしてたんだよ

で、実際行くときもルンルン

※山車の音

八幡くだりの山車行列も好きでさあ

山車、乗ったことはないんだけど、あのやーれやーれやーれやーれ、ドンコドンコドンコドンコって、いいよね
あん時、5年生くらいだったと思うんだけど、友達同士で八幡のお祭り行ってさ

何が怖かったかっていうと、まず、傷痕軍人さんね

わかる？ 傷痕軍人さん

戦争で負傷したおじいさんが募金の缶前にして立ってんだ

ラジカセで、なにか、軍歌みたいなの？ 流してた気がする

あと、見世物小屋！

怖すぎ

蛇女、牛女ね

なかでも蛇女は凄かった

生きた蛇を鼻の穴にいれて、口から出した！

確か、その蛇最後に噛みちぎった気がする

で、こんなに太い蠟燭の口ウを、こーやって口に含んで、ブオーって火まで噴いた！

おれたちみんな、文字通り蛇に睨まれた蛙状態

蛇女に睨まれた小学生状態。そのまんまか！

あとで夢に出てきてうなされてさ

風呂でもシャンプーしてる後ろに、蛇女がいたらどうしようとか思ってたさ！

ほとんどトラウマなんだよね

でもやっぱりあれが昭和のイメージなんだよね

見世物小屋、まだ日本にあんのかな
巡業してんのかな

けど、この歳になつて思うと、あの蛇女さんも、それがお仕事だったわけですよ
八幡通りで立ってた傷痍軍人さんも、秋が来ると、さて、そろそろ出かけるか、なんつって、
軍服に着替えて、出向いたんだよね

あれえ？ そう考えると、かの人は、ここに住んでる人とも限らないのかなあ？
全国各地のお祭りで、ああやって立ってたのかなあ
かなりもうお爺さんだったけど、片腕なくて
あ、今気付いた
その可能性もあるなあ

またお酒を、今度はゴクゴク飲む。
ふいーつと一息。

男 人生も折り返し地点、なんて言いたかないけど
だんだん気付かなかったことに気付いてくるようになるね
好むと好まざるとにかかわらず

男、遠くを睨むようなちょっと険しい表情。

男 あ、UFO

バタバタバタとへりが上空を飛んでいく。

男 へりか。でかいへりだな

過ぎ行くへりを見送る。

男 仕事、1月末でやめたんだ

その、身体のこともあったわけだけど、除雪でさ、さらに腰ガタガタになっちゃって
情けない話、インフルにもかかって

死ぬかと思った

ウチ、ようは下請けでさ、もうずっとかつかつで仕事してたようなもんでさ
いや、これ、ホントに

業界下火だって言われてたけど親会社は、自分とこの利益はきっちり確保するからね
そのうえで仕事よこしてたわけだからさ

いや善悪じゃないよ？

それが普通なんだよ、うん

職業選択は自由です

わかってます

それが、今や、人足りない状況だって

みんなバンバン沿岸行って

知り合いから電話かかってきた

できるかって

いやー

いやあー……

よっしゃ、そろそろ鍋いくかな！

男、鍋に火をつける。

男 着火！ おれのハートに火をつけるお！

男、歌を歌う。

熱い歌。

歌い終わりに、激しくむせる。

むせてしまったことでちよつとバツが悪そうになる。

男　ウフフフフフ…ごめんごめん

花を見上げて

男　うちの爺さんの口癖ね

「ソメイヨシノはすぐ病気になるだ。戦後に植木屋が文部省と結託して学校に植えまくったんだじゃ。おれあ桜は山桜、まだ田打ち桜のほうがいいじゃ」
だって。ムフフフ…

祖父を思い出す。

男　おれほんと爺さん好きだったんだよね

やってた仕事も、ちよつと爺さんを見てたからってのもあるかもしれない
夏にキミ煮るんだよ

爺さんはキミのイメージだ

大正13年生まれ

若い頃は戦争にも行った

捕虜になってシベリアに抑留された

その話を聞いたのは、爺さんが死ぬちよつと前

こつち戻ってからは建設現場やらトンネルの発破やらなんでも仕事した
爺さんここではベゴと田んぼと畑もやってて、炭焼き小屋もあった
裏山がベゴの牧草とる山で、まったくなんもないんだけど

そこで弟や従兄弟たちと遊ぶのが楽しくてさ

一本だけでかいコブシが植わってた

地元では田打ち桜っていうらしい

そういやもう長いこと行ってないな

まだあるんだったら見に行きたいなあ

爺さんはそのコブシに思い入れ強かったみたい

実に、見事な咲きっぷりだったから

おれは桜もどっちも好きなんだけど

咲く花は強いから

立ち上がり、フラフラっと歩き出す。

桜の幹に触る。

男 うおー、ここ、すげえ樹液が出てる

飴色だあ

桜

なんも変わりなく咲いたなあ

ソメイヨシノの寿命って案外短いんだって

長くても100年って言われてるけど
接木でしか咲かない桜
人間の手でしか生きられないとも言えますね
当たり前のように咲いて散って
いいなあ
それで、心和ませてくれるじゃない
おれは、ほんとに役立たずじゃないか
家族もない
職人にもなれんかった
気力ない
みんなのがんばりに逆行してないか

男、桜の幹にひしと抱きつく。

男 うわあ！

男、急に慄く。

男 毛虫！ アメリカシロヒトリ！

うわあ、ゾクゾクしたあ！
虫つきやすいからね、ソメイヨシノは
いや
おれも
虫みたいなもんか

男、少し佇む。

男 ん？ アメリカシロヒトリ？
差し詰めおれは、モリオカ、シロ、ヒトリ？
誰がうまいこと言えと
さむっ
あ、そうだ、鍋
鍋食べてあつたまろう
身も心もね

男、鍋のフタを開ける。
湯気が立ち上る。

男 うほほー、どれどれ

スーパーの袋からお椀と箸を取り出す。
しかし、お玉が無い。
袋を覗き込む。
やはり無い。

男 あらあ、お玉忘れたよ！

まじで、どうやってよそう？

(お椀を構えて) こうか？

いやいやいや

あのー、どなたか、お玉お持ちではないでしょうか？

暗転。

・
・
・
・

映像が流れる。

大通の100キンド。

お玉を買う男。

それを持ちながら、再び公園下をぶらぶら歩く男。
元の場所に戻ってくる。
映像が終わる。

・
・
・
・

日が落ちたようだ。

男、鍋をよそっている。

そして割り箸を割って、ふうふういいながら食べる。

おかわりする。

また食べる。

男
うまいねー、自分で作っというてなんだけど、うまいわ。幸せだわ

食べ終わる。

男
ごちそうさまでした！

男、ポケットからティッシュを取り出し、鼻をかむ。

男　ここは、ご存知のとおり、かつてお城だったんだよね

殿様どこにいたのかなあ

家来どこにいたのかなあ

あ、殿様は江戸の武家屋敷にいたのか

しかしまさか、お殿様も300年近く経って、おれがここで、でーんと座って納豆汁食ってるとは想像だにしなかつたろうねえ

おれが、この王様だな！

ウフフフフフ

だから100年先なんてわからないんだよ

ここで宇宙人が酒盛りしても不思議はないんだよ

それは不思議か

でもおれ一度だけ宇宙人をみたことがある

宇宙人が

おれのアパートで

シャンプーしてた

驚いた

女の宇宙人で、一見地球人と区別がつかない

おっぱいもある

シャンプーの泡、シャワーで流して

おれに気付いて振り返った！

陰毛もあった！

なに見てんのよお——！
そう

おれの彼女、宇宙人だったんだ
お互いちよつとしたことでケンカが絶えなくなって
風習の違いで

その女はもう月に帰るから、と言った
へ？ かぐや姫？

聞くと、月面ステーションから
生まれ故郷のアルファケンタウリ第五惑星に戻るのだそうだ
実家では、小さな食堂やって、なぜかオムライスが人気らしい
実に所帯じみてるなと思った
憎めない人、もとい、宇宙人ではあったのだけれど
どうしてんだろうなあ
ん？

上空を見上げる男。
激しく明滅する光。

男
UFO！

閃光が消える。
元通り。

男 あーびっくりした

落ち着こう
酒だ

男、酒をゴクゴク飲む。

男 なんかつつかり酔い覚めちゃったよ

何があっても不思議はないけど
いやいやいや、それにしてもさあ

男、また酒をゴクリと飲む。

男 だいたいおれは、今日花見をしに来たんだよ

今年で最期になんだよ
酒飲んで、酔っ払って、ぐるぐる不確かなアタマで、花を見て、花と意識がごちゃまぜになって、境界がわからなく

なつてだな、それはもう天国なんじゃないかと思うんだ？
ダメだ、寒くなってきた

震える

そしたら、天国だったら、死んでもいいじゃない

無理してこんな、ソメイヨシノにくつついたアメリカシロヒトリみたいなおれなんか、王様でもなんでもなくって、
さつさと死ねばいいじゃない

誰も迷惑かけたくないんだ

きつと生きていることが迷惑だよ

おれからしてみれば

弟とか、うちの両親とか、爺ちゃんみたいに、いけなかつたんだよ害虫なんて、この世にいないほうが、いいに決ま
ってる

桜に虫がつかないほうがいいに決まってる

どうしてそんな単純なことなのに

なんでおれが、おれが、おれが仕事した葬祭会館で

あんなに人が死んで

いっぱい運び込まれて葬式して

弟も

由美ちゃんも

親も

なんでおれはまだ生きてんの？

なんでおれはまだ生きてんの？

なんで、おれは、まだ生きてんのおー！？

男、膝を抱えて丸くなる。
ゴロンと転がり。

男
ダンゴムシ

そのまま、動かない。
桜のような、雪が降ってくる。

男 ああ、このまま冬眠したい
永眠でもいい
人が眠ることは死ぬ練習だって
今日は、本番さ

静寂。
しばらくして、別の男がやってくる。
男の傍にしゃがむ。

別の男 兄さん

別の男、笑っている。
そばにあるコップに酒を注ぎ、それを飲む。

別の男 兄さん

男、起きる。

男 わ！ なんているんだよ

別の男 ？

男 え、今日は、どうしたの？

別の男 ないなあそれ、その言い方

男 すまん

別の男 用は、とくにない

男 あ、そう

別の男 風邪引くよ？

男 うん。お前もな

別の男 おれは引きようがないだろ

男 はは、そう言うなよ

別の男 これ食っていい？

男 うん

別の男、納豆汁を食べる。

男 冷めちゃったな

別の男、答えない。
かわりに、親指を立てる。

男　　そ、なら、よかった
これさあ、ばあちゃんよく作ってくれたもんな
懐かしいべ？

少し間。

男　　ちょっと聞いてくれよ

別の男　ん？

男　　昔さ、江戸時代にね、桜の見物客がごった返してるから、このお客さんたちに、何やったらウケるか、考えた人たちがいたんだ
でね、みんなで首吊りしたら、一番話題になるんじゃないかって言ったやつがいたの
でもそれだと、ウケたかどうか確認するやついないじゃん？
てツッコミ入ったわけ
それで、いや、おれが確認するから大丈夫って、その言い出しっぺが言ったの

別の男 うん

男 おれ、ここで首吊るから、みててくんないかな

別の男 ハア？

男 ウケるかもしれないから
ロープ持ってきたんだ。首くくりの

男、袋から荒縄を取り出す。

別の男 枝折れるんじゃない？

男 太いところにゆわえるよ

別の男 迷惑だなあ

男 でも、誰もいないし

別の男 迷惑だろ

男 生きてるより？

別の男、溜め息。

男より縄を受け取る。

めんどくさそうに、男を縛る。
手際がよい。

別の男 じゃ

男 え、えー？

別の男 待たせてるから

男 あ、ユミちゃん？

別の男 ああ

男、嬉しそうに

男　　そっか！　　はやく行ってやんな！

別の男、かっこよく右手の二本指をかざして去る。

男　　それ、あん時の：

でも、あれー？

これどうすんの？　　ちよつとお！

おれ縄抜けできないぞお！

ちよつとおー！

王様は、捕縛されてしまいました

このまま、断頭台が近くにあればいいのだけれど

残念ながら、ありません

王様は途方に暮れました

しかし、王様に妙案が浮かびました

(客に)　　すみませんが、これ、ほどこいてくれませんか？

お客さんに、ほどこいてもらう。

男　　身体が、とても軽い

腰も痛くない

息を大きく吸い込む。

男 肺が、なんともない

なぜだ？

ありがとう

ありがとう、弟よ

桜が舞い散る。

泣きそうなのをごまかして、急いでコップに酒を注ぎ、飲む。

男 今日はまだ、ずいぶん、酔ってしまったなあ

また、桜をみて

男 こんな詩をね、読んだ人がいる

さくらだといふ

春だといふ

一寸、お待ち

どこかに

泣いてる人もあらうに

さくらだといふ

春だといふ

一寸、お待ち

どこかに

泣いてる人もあらうに

泣き虫は、ここにもいますよ

いい年して

生きててもいいなら、生きます

来年の花見もします

ひとりでも

花を見にきます

もし友達ができたら、友達と

家来ができたなら、家来と

何かの間違いで

お姫様がやってきたら、お姫様と
王様はまた、花見をします

(了)